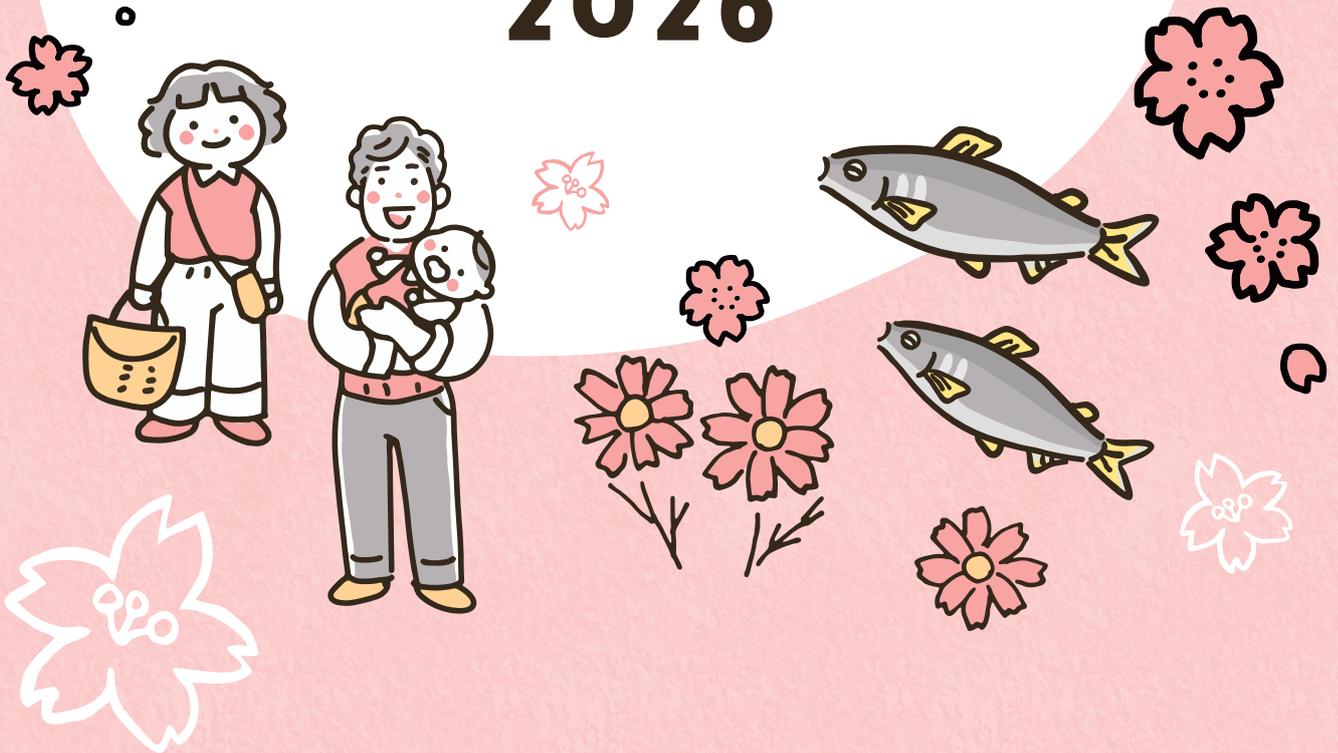




さくら市
企業紹介 Book
2026



目次

- P.1 市長あいさつ
- P.2 社長インタビュー 株式会社 ダイサン 代表取締役社長 齋藤 慎一 氏
- P.4 社長インタビュー 株式会社住地 お丸山ホテル 代表取締役社長 小林 忠広 氏
- P.6 若手インタビュー 丸永製菓 株式会社 関東工場 課長 小松 美帆さん
- P.8 若手インタビュー 株式会社 ユタカ技研 栃木開発センター PU開発室 丹野 遥登さん



さくら市企業振興協議会企業紹介

- 製造業
- 農林水産業
- 建設業
- 印刷業
- 卸売業
- 卸売、小売業
- 卸売、小売、サービス業
- 運輸業
- 金融業
- 医療、福祉業
- サービス業
- 不動産業
- 物品賃貸業
- 宿泊業
- 情報通信業

P.10 アサヒグループ食品 株式会社 栃木さくら工場 株式会社 荒井食品	P.31 株式会社 齋藤重機工業
P.11 エバラ食品工業 株式会社 栃木工場 株式会社 壮関 さくら工場	P.32 株式会社 桜創建 佐藤建設工業 株式会社
P.12 丸永製菓 株式会社 有限会社 愛和精密製作所	P.33 サンワ産業 株式会社 株式会社 伸興建設
P.13 大古精機 株式会社 株式会社 大塩精工	P.34 株式会社 鈴木瓦工業 友建工業 株式会社
P.14 株式会社 小野製作所 シンテックス 株式会社	P.35 野沢エンジニアリング 株式会社 北辰電設 株式会社
P.15 大和鋼管工業 株式会社 栃木日東工器 株式会社	P.36 有限会社 赤礼堂印刷所 株式会社 ダイサン
P.16 エリエールプロダクト 株式会社 大日本パックス 株式会社	P.37 株式会社 タートル 池田産業 有限会社
P.17 株式会社 ヤマサンワタナベ エーシーエム栃木 株式会社	P.38 株式会社 粕谷 PLUSONE 有限会社 紙屋菓子店
P.18 中山金属化工 株式会社 マザーサンヤチヨ・オートモティブシステムズ 株式会社 栃木研究所	P.39 有限会社 菊屋呉服店 有限会社 小林石油商會
P.19 三菱ふそうトラック・バス 株式会社 喜連川研究所 株式会社 ユタカ技研	P.40 添田米穀 株式会社 有限会社 滝口スポーツ
P.20 株式会社 湯原製作所 株式会社 ILファーマパッケージング	P.41 株式会社 ビッグワンホールディングス 有限会社 シンエイ観光バス
P.21 株式会社 エヌ・イー・エス 大野ゴム工業 株式会社 喜連川工場	P.42 株式会社 高野商運 株式会社 足利銀行 氏家支店・喜連川支店
P.22 川崎三興化成 株式会社 新生興産 株式会社	P.43 鳥山信用金庫 氏家支店 株式会社 栃木銀行 氏家支店
P.23 ゼビオプラスト 株式会社 一般社団法人 素木工房里山想研	P.44 医療法人 誠之会 氏家病院 社会医療法人 恵生会 黒須病院
P.24 ピーシー化成 株式会社 富士フィルター工業 株式会社	P.45 医療法人 文光会 渡辺歯科医院 株式会社 関東特殊
P.25 堀田光学工業 株式会社 荒川養殖漁業生産組合	P.46 クオリティスタッフ 株式会社 株式会社 さくら那須モータースクール
P.26 喜連川水産 株式会社 株式会社 セブンハンドレッドファーム	P.47 株式会社 シージーエム 株式会社 セブンハンドレッド
P.27 明星漁業生産組合 荒牧空調工業 株式会社	P.48 日昌測量設計 株式会社 さくら営業所 株式会社 日本ビルメン
P.28 株式会社 荒牧組 株式会社 猪瀬	P.49 株式会社 羽田観光 株式会社 白興 栃木工場
P.29 有限会社 猪原瓦店 岡村建設 株式会社	P.50 株式会社 エイシン 有限会社 ハウス・ネット
P.30 株式会社 協立電気 有限会社 黒尾電設工業	P.51 カセツリース 株式会社 株式会社 三協
P.31 株式会社 齋藤工業	P.52 株式会社住地 お丸山ホテル HCCソフト 株式会社

- P.53 地域おこし協力隊① ～はじめまして！ さくらTwinsです～
- P.54 地域おこし協力隊② ～は一ちゃんの さくら市のここが推し！～
- P.55 地域おこし協力隊③ ～りっちゃんの さくら市のここが推し！～
- P.56 さくら市のSNS情報

市長あいさつ

私は令和7年4月に市長に就任し、さくら市を「選ばれるまち」となることを目指し、持続可能な地域づくりを推進していきます。「選ばれるまち」とは、『住みたい・働きたい・暮らしたい・遊びに行きたい』と思ってもらえるようなまちのことです。



さくら市には、市内に立地する企業121社で組織した「さくら市企業振興協議会」があり、市内企業の抱える課題に取り組むための活動しております。この企業紹介BOOKは協議会事業の一環として、企業の「人材不足」という課題に対し、多くの方々にさくら市に立地する企業の魅力についてまずは「知ってもらう」ことを目的としております。皆さまにはこの冊子を通して、1つでも多くのさくら市企業の魅力に気づいていただければ幸いです。

これからも企業の立地場所としてさくら市を選んでいただけるよう、働く場所・住む場所として選んでいただけるよう、行政として可能な限りのサポートを提供して参りたいと思います。

最後にこの冊子を発行するにあたりご協力いただきました企業の皆様、関係者の皆様には心より感謝を申し上げます。

2026(令和8)年1月

さくら市長

中村 卓資



株式会社 **ダイサン**
CREATIVE & PRINTING
COMPANY

株式会社
ダイサン

紙・WEB・動画 50年で培った
ノウハウで企画からお届け！



代表取締役社長

齋藤 慎一 氏

あなたの成長が
地元の力に
なります！

社長インタビュー

Q1. 会社の概要について教えてください。

株式会社ダイサンは、1974年に印刷会社として創業しました。現在は私が先代から事業を引き継いで18年になります。時代とともに情報の伝え方は変化しており、紙だけでなく、WEBや動画などデジタル媒体の需要も高まっています。当社の強みは、紙・電子・動画を活用し、企画から制作・納品までをワンストップで行える体制です。お客様の目的に合わせて「必要なものを必要なタイミングで届ける」ことを大切にしています。

Q2. さくら市での立地について思いを教えてください。

本社を置くさくら市は、私が生まれ育った地元でもあります。近年はネット印刷が普及していますが、お客様の思いや要望を直接聞ける対面での受注が私たちの強みであり、ここさくら市に社を置く価値があると考えています。信頼関係を大切にしたい仕事ができるのも魅力です。さくら市は暮らしやすく良いまちです。若者が県外に出る流れもありますが、この地域で安心して働き暮らせるよう、雇用を生み出したいという思いもあります。

Q3. 今後の事業展開について教えてください。

印刷業界全体では、デジタル化の加速や紙媒体の減少が課題です。だからこそ「印刷物は情報を伝える手段の一つ」という原点に立ち返ることが重要だと考えています。紙かWEBかという二択ではなく、それぞれの良さを組み合わせて伝える時代です。WEBはスピード感や拡散力があり、紙はじっくり読んで理解を深めてもらうのに向いています。私たちはお客様の情報を、どの媒体でどう表現すれば一番伝わるかを提案します。

また、高い品質でサービスを提供するために、WEB販促に特化したグループ会社も設立しています。印刷とデジタルを分けるのではなく、それぞれの強みをつなぎ合わせることで、新しい価値を生み出すことが目的です。動画制作やSNS運用にも力を入れ、「情報発信の総合パートナー」として発展していきたいと考えています。

Q4. 求める人材について教えてください。

当社では企画から納品まで一貫制作を行うため、部署同士の連携が重要です。特に大切にしているのが「報告・連絡・相談」です。「お客様に迷惑をかけないこと」を軸にすれば、問題や不安があったときに一人で抱え込まずに相談できるはずです。私自身も話しかけやすい環境を意識し、社長室の扉は常に開けています。

また、新しいことに挑戦する姿勢も歓迎します。「できない」と考える前に「まずやってみよう」と動ける人は、仕事の幅を広げられます。お客様からの「助かった」「いいものができた」という言葉は、大きなやりがいになります。現場にはある程度の裁量も任せ、一人ひとりが主体性を持って働ける環境づくりを心がけています。

紙もデジタルも、情報を伝える手段が違うだけです。どんな時代になっても「伝えたい人」と「受け取る人」の間に立って価値をつくるのが、ダイサンの役割だと思っています。





 Omaruyama Hotel

株式会社住地 お丸山ホテル

あなたの成長が
地元の力に
なります！



社長インタビュー

「さいこうを目指す」を合言葉に、
地域と人をつなぐホテルへ



代表取締役社長

小林 忠広 氏

Q1. ホテルの概要について教えてください。

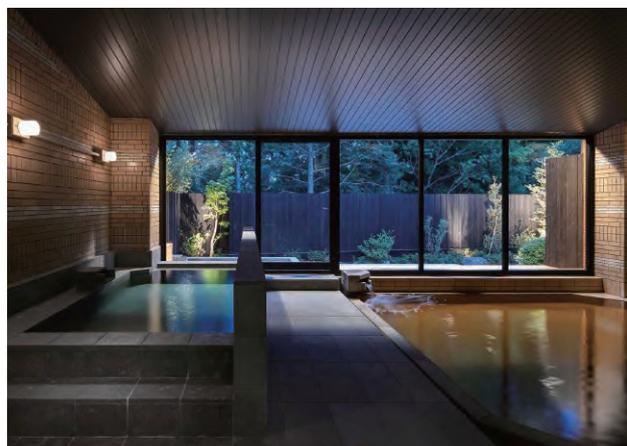
当社は、さくら市からお声がけをいただき、旧「ホテルニューさくら」を取得し、2021年4月に「お丸山ホテル」としてリニューアルオープンしました。ホテルのコンセプトは「さいこうを目指す」で、この言葉には三つの意味を込めています。

一つ目は「最高」。自然・歴史・温もりをつなぎながら、地域の方とともに新しい美しさをつくる“最高の場所”を目指しています。

二つ目は「再興」。喜連川やさくら市の魅力をもっと多くの人に知ってもらい、人のつながりを通して“続くものを続ける”。お丸山ホテルは、人の温もりで地域を再び元気にしたいと考えています。

三つ目は「さ、行こう」。自然に笑顔が生まれ、「おかえり」「ただいま」と言葉が交わされる、そんな温かい時間が流れる場所でありたいという想いです。

また、当ホテル自慢の“三大美肌の湯・喜連川温泉”やサウナ・露天風呂、料理も多くのお客様にご好評をいただいています。



Q2. さくら市という立地の魅力はどんなところにありますか。

さくら市は栃木県の県央エリアに位置し、国道4号線・293号線やJR烏山線などの交通網が整備された、アクセスの良い地域です。那珂川町や那須烏山市など、周辺地域へとつながる交通の要点でもあり、広域的な連携を進めていく上でも重要な役割を担っています。豊かな自然や温泉、観光資源を活かし、今後さらに観光や交流の拠点としての可能性を秘めています。宿泊を通じて地域全体の魅力をより多くの人に届けられる場にしていきたいと考えています。

Q3. 今後の事業展開について教えてください。

これからは、料理やサービスの質をさらに高めていくことに力を入れたいと思っています。2025年11月には全19室のうち2部屋をセミスイートルームにリニューアル予定です。さらに2026年には、ホテルの向かいに新しい滞在施設を設け、アーティスト・イン・レジデンス(芸術家が一定期間滞在し創作活動を行う仕組み)もスタートする計画です。

ホテルを通して文化・芸術・食で地域とつながる拠点をづくり、お客様にもスタッフにも選ばれる会社を目指し、さくら市の未来の芽を耕しながら“幸せの総量”を増やしていきたいと思っています。

Q4. 求める人材について教えてください。

私たちが求めているのは、主体性を持って動ける人、課題意識を持って自分から仕事を見つけられる人です。経験よりも人柄を重視し、「やってみたい」「成長したい」という気持ちを持っている方であれば大歓迎です!若い世代の発想を大切にしながら、一緒にホテルを育てていける仲間を歓迎します。

Q5. 最後に、読者の皆さんへメッセージをお願いします。

生まれ育ったまちを良くしていきたい、そんな気持ちを持っている方は、ぜひ一緒に歩んでいきましょう。もちろん、働くという形に限らず、観光やイベントなど、どんな関わり方でも構いません。お丸山ホテルは、地域を想う人たちのつながりが生まれる場所でありたいと思っています。

このさくら市から、笑顔と温もりの輪が広がっていくことを願っています。





marunaga **丸永製菓**

**丸永製菓
株式会社**

未来の仲間へ 最前線からの メッセージ

若手インタビュー



ご褒美の甘いものが原点
先輩の活躍も後押しでした！



関東工場 課長

小松 美帆さん

Q1. 就職のきっかけを教えてください。

中学から高校まで陸上部に所属していました。食事制限が必要なスポーツだったので、チートデー(自分へのご褒美で好きなものを食べる日)に食べる甘いものが、心の癒しでした。高校では食品化学科に進み、授業で学ぶ食の知識がとても楽しく、自分も食の魅力を伝える仕事がしたいと考えるようになりました。

その中でも、丸永製菓に強く惹かれたのは、学校の先輩たちが同社で活躍している姿を知ったことも理由の一つです。彼らの働きぶりを見て、私も同じ道を歩みたいと思い、就職活動の際に丸永製菓への思いが決まりました。

Q2. 働き始めて思うことを教えてください。

入社前は、製造の仕事は単純作業の繰り返しだと思っていましたが、実際には機械のメンテナンスなど幅広い業務があり、良い意味でギャップを感じました。もちろん不慣れなことも多く、大変だと感じることもありましたが、その経験を活かして今は後輩のフォローに努めています。

約3年前からカップアイス製造部門の責任者を任せられ、人や機械を総合的に見る立場になりました。今後は、複数ある機械のメンテナンスを自分でこなせるように技術を磨くことが目標です。また、部下の成長を支えながらチーム全体の底上げを図り、より良い現場づくりに貢献したいと考えています。

Q3. 憧れの先輩について教えてください。

尊敬する先輩が二人います。二人とも自分より10歳以上年上で、入社当時の直属の上司でした。彼らの業務対応の的確さや、人とのコミュニケーションの取り方がとても素晴らしく、自然と憧れの存在になりました。

部署が変わった今でも、困ったことがあれば気軽に相談に行っています。彼らのように仕事に真摯で、周囲から信頼される存在になることが私の理想です。

Q4. さくら市のいいところを教えてください。

さくら市の魅力は、公園や川などの自然環境と、商業施設など生活に便利な環境のバランスが良いことです。休日には自然の中でリフレッシュでき、買い物も困りません。

また、JRの駅があることで交通の利便性が高く、通勤や外出がとてもスムーズです。このような住みやすさが、さくら市で働く大きな魅力の一つだと感じています。

Q5. 最後にひとことお願いします。

さくら市は、住むにも働くにも良い環境が整っています。丸永製菓では外国籍の方も多く働いており、多様な価値観に触れることでコミュニケーション能力が磨かれるのも魅力の一つです。そして、社員食堂で甘いものをたくさん食べられるのは、何よりの楽しみです。もし少しでも興味があれば、きっと長く続けられる楽しさややりがいを見つけられると思います。

地元のさくら市に、大切な家族や友人、場所、思い出など何か一つでもあるなら、地元で働く選択はとても素敵だと思います。ぜひ一歩踏み出してみてください。





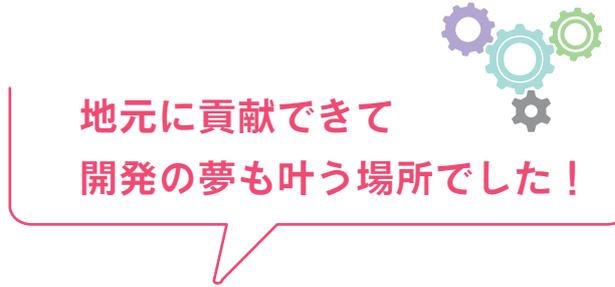
株式会社 ユタカ技研

未来の仲間へ 最前線からの メッセージ

若手インタビュー

Q1. 就職のきっかけを教えてください。

地元で働くことを考え、自動車部品の開発に携われる企業を探していたところ、ユタカ技研を見つけました。



栃木開発センター PU 開発室 モーターブロック

丹野 遥登さん

入社 4 年目
機械設計・新モーター開発についての技術検索等

Q2. 働き始めて思うことを教えてください。

自動車やバイク好きで部品にも興味があり、開発職に就きました。当初漠然としたイメージでしたが、業務の複雑さに驚き、シビアな世界だと痛感。考え方を見直し、技術力に加え計画性や柔軟な対応力の重要性を実感しています。日々成長を感じられ、やりがいを持って取り組んでいます。将来は担当モーター部品分野のスペシャリストとして、専門知識と業務全体の流れを理解する力を身につけたいです。ユタカ技研では趣味を通じた交流が多く、良好な人間関係が日々のモチベーションにつながっています。



Q3. 憧れの先輩について教えてください。

私が憧れる先輩は、マネジメントが的確で、疑問に的確な回答をしてくれる方です。資料も見やすく、どんな業務もそつなくこなす姿を尊敬しています。現在、私はモーター部品の開発や付帯部品の調査に携わり、日々多くを学んでいます。将来的にはその分野のスペシャリストになりたいと考えており、知識だけでなく業務全体の流れを理解することが重要です。先輩からは「若いうちにいい失敗をしたほうがいい」と言われ、まだその「いい失敗」ができていないかわかりませんが、失敗を通じて学ぶ姿勢を大切にしています。先輩のサポートや助言で、安心して挑戦できる環境です。

Q4. さくら市のいいところを教えてください。

さくら市は、宇都宮の都市的な魅力と那須方面の自然の豊かさの両方にアクセスしやすい立地が魅力です。ゴルフを楽しむ私にとって、周辺にはゴルフ場が多数あり、休日の過ごし方にも困りません。勤務先のユタカ技研栃木開発センターはフレックスタイム制で柔軟な働き方が可能。早朝に会社近くでゴルフをして10時前に出社するといったスケジュールも実現でき、仕事とプライベートのバランスが取りやすい環境が、さくら市で働く大きな魅力です。

Q5. 働くことの魅力について教えてください。

職場では幅広い年代の方々と関わることができ、同世代だけでは得られない視点や経験を通じて、自分自身の成長につながっています。現在は新しい分野への挑戦が始まった段階で、さまざまな業務にチャレンジできる環境が整っており、自分の性格や志向にも合っていると感じています。また、自分の取り組みに対して周囲から「やるじゃん」と声をかけてもらえるような、前向きで温かい雰囲気がある職場で働けることも、大きなやりがいのひとつです。

Q6. 最後に、学生へメッセージをお願いします。

仕事は楽しいですが大変なことも多々あります。その際に一番必要なのはコミュニケーション能力だと私は思います。どの場面でも使う能力です。ですので、部活やバイトなど何でもいいので、人と関わってコミュニケーション能力を高めておくと社会に出たときに力になります。

